

START

第1学年通信

第6号

平成31年

4月16日(火)

生徒会歓迎集会で

生徒会歓迎集會では、2年生、3年生による、心尽くしの歓迎を受けました。春休み中から、生徒会の役員は遅くまで学校に残って、準備をしてきました。

新入生を代表して、2組の代表が感謝の言葉を述べました。以下は、その抜粋です。きっと、1年生一人ひとりが感じていることだと思います。

委員会活動は、小学校とは違うものやってみたいと思いました。

部活動では、文化部に興味を持っています。先輩達や同級生と、部活動を通して絆を深めていきたいです。

これから始まる中学校生活では、委員会活動にも、部活動にも精一杯取り組んで、自分達の良さや個性を発揮していきたいと思っています。2年生、3年生のみなさん、これからどうぞよろしくお願いします。



♥ ハートフル・コーナー

- 先週金曜日、学年レクレーションを行った時、1年生が体育館の中に入ってきました。私が全体に指示を出そうと思ったら、1組の土田くんが「どういう隊形で整列するのですか？」と私に聞きました。指示を出すと、自分から大きな声で1組の生徒に呼びかけを始め、すると他クラスの学級委員も呼びかけを始めました。おかげで、授業開始前に、整列が完了しました。
- 給食の配膳室で。3組の小野くんが、クラスの食管を運んで、配膳室を出る時に、配膳室にいた3人の先生に向かって、「給食、ごちそうさまでした！」と大きな声であいさつし、深々と礼をしていきました。小学校からの習慣でしょうか、何と礼儀正しんだらうと、感心しました。
- デイリーライフを書き始めて1週間が経ちました。一人ひとり、とても丁寧に記録を書いています。心温まる言葉が多いなあと思っています。4組の大野くんは、記録の中に「ごめんなさい」と書いていました。記入スペースの真ん中に、誤ってペンで線を書いてしまったみたいで、そこに矢印を引いていました。担任の先生への配慮だと思います。よく心が行き届いていますね。
- 1年1組の教室で、窓から見える景色がとてもきれいなんだよと、安達くんに話したら、窓の外を見て、「本当ですね！」と喜び、共感してくれました。何気ないことですが、そのように共感してもらえるとうれしいものです。また、人間関係が円滑になると感じています。